

保育型発達支援といろきっずたまプラーザ教室
令和2年度 事業所自己評価結果の公表

公表: 令和3年3月31日
アンケート期間: 令和3年3月1日～令和3年3月25日

保護者等からの事業所評価の集計結果

保護者等数(児童数)16名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	9	5		
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	14			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	14			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	13	1		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。	14			
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	14			
	7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	14			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	14			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。	4	8	2	

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数 6名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	6			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	6			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	6			
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6			
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	13		1	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	14			
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	14			
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	14			
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の連携が支援されていますか。	2	1	6	5
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	14			
	17 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	13	1		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			<p>・スタッフへの依存にならないよう、色々なスタッフで対応を図りつつ、困ったときはすぐに管理者に指示を仰ぎ対応方法や回答方法について相談している。個人情報の同意について定期的に確認している。日々の様子を動画撮影する等して、保護者様がお子様の生活をイメージした上でお話できるような努めている。</p> <p>・日本語の理解が不十分な外国籍保護者様に対して個別支援計画の英訳(補助資料)での説明をした。内容を読み上げて、署名して頂いている</p> <p>・保護者様から受けた相談等は、職員間で共有しどの職員でも対応できるようにしている。</p> <p>・おたより等で子どもの活動の姿を載せたり、日々の利用時に写真や動画を見てもらい様子を伝えるようにしている。</p>
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	13	1		
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	13	1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	4		<p>・定期的な避難訓練や研修の実施を計画を立てながら実施する必要がある。</p> <p>・あまり避難訓練が行えなかったため、定期的に行っていく。各マニュアルの見直しを図る。</p> <p>・職員で共有して、迅速に対応できるようにする</p> <p>・災害時の対応の仕方、怪我等の対応の仕方を職員間でマニュアルを作成して、訓練、研修を行ってきたい。</p>
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	4	・ヒヤリハットはその場で記入するように変え、書く頻度が増えている。	
	41 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に対応した活動内容・支援方法について日々工夫しながら取り組んでいる	6		・日誌にヒヤリハットを記入することに変更し、職員間での周知がしやすくなり、危険予防への意識が高まった。	
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・すぐに状況を説明し、適切に対応するよう心がけている	
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		
	23 事業所の支援に満足していますか。	13	1		

この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における分析・協議・改善案の検討結果

事業所内での分析	
【保護者様評価・職員自己評価の共通点】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが過ごしやすい環境設定を行なっている 子どもたちが楽しく活動に取り組めるよう工夫している 保護者会、親子参加などがコロナウイルスもあり、できていない 子どもについて保護者と職員で情報共有、意思疎通が図られている 非常時の対応などについて情報共有が不足している 幼稚園や保育園との交流ができていない
【保護者様評価・職員自己評価の相違点】	<ul style="list-style-type: none"> 整頓、収納場所の設置などまだまだ環境設定の余地がある

分析・検討してみても…	
事業所の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・保育型であることで集団生活と個別活動の両方を体験することができる ・職員全員で子どもの状態や出来事を情報共有し、次に生かすことができる ・いろいろな活動内容の意見を出し合うことができる
事業所の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 棚の上に物が多い ・保護者会、参観などが行っていない ・避難訓練が行っていない、非常時に必要な物がそろっていない ・幼稚園や保育園との交流ができていない

事業所の改善への取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・整頓や収納場所の設置など環境をより良くする ・オンライン保護者会、参観など工夫して行なっていく ・避難訓練の計画を立て、実行する ・非常時に必要な物の見直しをする ・保護者との意思疎通をより深める ・園庭開放など幼稚園や保育園の情報を調べていく 	<p>～自己評価を行なっている事業所としての感想など～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスで保護者会、親子参加、行事などができなかったが、オンラインで行なっていく、新たな情報発信の手段を考えるなど新しい視点で検討するきっかけになった。 ・非常時の対応について職員も不安に感じていることがわかった。マニュアルや連絡手段、必要ななどを再確認し、すぐに実施していきたい。また、保護者にも行なっている内容を随時、お伝えしていきたい。 ・職員が環境整備がもっと必要だと感じていることがわかった。努力していきたい。(管理者 鈴木美和)